

43市町村の魅力紹介

～職員採用～

目 次

建制順	団体名	郵便番号	住所
1	鹿児島市	892-8677	鹿児島市山下町11番1号
2	鹿屋市	893-8501	鹿屋市共栄町20番1号
3	枕崎市	898-8501	枕崎市千代田町27番地
4	阿久根市	899-1696	阿久根市鶴見町200番地
5	出水市	899-0292	出水市緑町1番3号
6	指宿市	891-0497	指宿市十町2424番地
7	西之表市	891-3193	西之表市西之表7612番地
8	垂水市	891-2192	垂水市上町114番地
9	薩摩川内市	895-8650	薩摩川内市神田町3番22号
10	日置市	899-2592	日置市伊集院町郡一丁目100番地
11	曾於市	899-8692	曾於市末吉町二之方1980番地
12	霧島市	899-4394	霧島市国分中央3-45-1
13	いちき串木野市	896-8601	いちき串木野市昭和通133番地1
14	南さつま市	897-8501	南さつま市加世田川畑2648番地
15	志布志市	899-7192	志布志市志布志町志布志二丁目1番1号
16	奄美市	894-8555	奄美市名瀬幸町25番8号
17	南九州市	897-0392	南九州市知覧町郡6204番地
18	伊佐市	895-2511	伊佐市大口里1888番地
19	始良市	899-5492	始良市宮島町25番地
20	三島村	892-0821	鹿児島市名山町12番18号
21	十島村	892-0822	鹿児島市泉町14番15号
22	さつま町	895-1803	さつま町宮之城屋地1565番地2
23	長島町	899-1498	長島町鷹巣1875番地1
24	湧水町	899-6292	湧水町木場222番地
25	大崎町	899-7305	大崎町假宿1029番地
26	東串良町	893-1693	東串良町川西1543
27	錦江町	893-2392	錦江町城元963番地
28	南大隅町	893-2501	南大隅町根占川北226番地
29	肝付町	893-1207	肝付町新富98
30	中種子町	891-3692	中種子町野間5186
31	南種子町	891-3792	南種子町中之上2793-1
32	屋久島町	891-4292	屋久島町小瀬田849番地20
33	大和村	894-3192	大和村大和浜100
34	宇検村	894-3392	宇検村湯湾915
35	瀬戸内町	894-1592	瀬戸内町古仁屋船津23番地
36	龍郷町	894-0192	龍郷町浦110番地
37	喜界町	891-6292	喜界町大字湾1746番地
38	徳之島町	891-7192	徳之島町亀津7203番地
39	天城町	891-7692	天城町平土野2691-1
40	伊仙町	891-8293	伊仙町大字伊仙1842番地
41	和泊町	891-9192	和泊町和泊10
42	知名町	891-9295	知名町知名1100
43	与論町	891-9301	与論町茶花1418番地1

※ 未掲載の団体につきましては、現在準備中です。

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	547.61
人口	591,263
男	275,603
女	315,660
世帯数	305,186

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。
※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	5,865
一般行政	2,829
教育	531
消防	543
公営企業等	1,962
平均年齢	42.0

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	鹿児島市は、桜島や錦江湾に代表される豊かな自然、個性あふれる歴史・文化など素晴らしい特性を有し、60万市民の生活を支え、来街者を楽しませる多様な都市機能が集積する南九州の中核都市としてこれまで着実に発展してきました。 子育てや教育環境の充実、保健衛生・防災対策など、市民の方々身近なことから、国内外の都市との多彩な交流や歴史・自然・文化や食など、本市ならではの魅力を世界に向けて効果的に広く情報発信するなど、世界を見据えたことまで、職員一人ひとりが、行政のプロ・まちづくりの担い手であるという使命感と誇りを持ち、業務に取り組んでいます。	主なイベント (年間行事)	・鹿児島マラソン ・かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会 ・おはら祭
目指すまちの姿 (ビジョン)	「つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま」 人口減少等の環境変化に的確に対応し、将来にわたり持続可能なまちをつくりあげていくために、さまざまな交流を通じ、相互のつながりを深めることにより、新たな価値が生み出され、多彩な人材やまちの魅力が豊かな彩りとなる、人もまちも躍動する鹿児島市を目指していきます。	求める職員像	①公正で誠実な職員 ②多様な主体と協働する職員 ③積極果敢にチャレンジする職員 ④経営感覚を持った職員 ⑤活力ある職場づくりに貢献する職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和4年度 / 一般事務	平成27年度 / 獣医師
志望した理由	前職で県外に出たことで、地元である鹿児島市で働きたいという思いが強くなり、地域のため、身近な人たちのために働く市役所職員であれば、より一層やりがいを感じることができると思い、鹿児島市役所への転職を決断し、志望しました。	卒業後は「地元の鹿児島市で働きたい！」と決めていて、鹿児島市役所の獣医師職がどんな業務をしているか詳しく調べないままに受験をしたので、生活衛生関係の業務以外に、牛の繁殖にかかわる畜産の業務や食肉検査などの業務があることに驚きました。
入ってみたいこんな職場	金融機関で7年間働き、令和4年4月に社会人経験者枠で採用されました。 認知症支援室に配属となり、認知症の普及・啓発に向けた取り組み、高齢者虐待の対応、成年後見制度に関する業務を担当しています。 前職と異なる分野ですが、関連団体や民間企業等と連携した取り組みを展開する業務も担当しているため、前職での経験と共通している点もあります。	現在配属されている生産流通課では、受精卵移植事業 (肉質が良いなど血統の優れた牛から受精卵を採取し、市内の農家さんが飼っている牛に移植して、改良をすすめる事業) や家畜防疫対策事業 (家畜の伝染病等の発生・まん延を未然に防ぐために、農家を巡回し、予防注射等に対する補助を行う事業) 等を担当しています。 生産流通課は獣医師職だけでなく、いろいろな職種の方と関わりがあります。職種の違いで壁はなく、幅広く情報共有ができ、楽しい職場です。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	市役所には数多くの部署があるため、業務を通じて、市民 (家族やお世話になった人も含めた) との繋がりを実感できる魅力があります。 私には認知症の祖母がおり、実際に症状が進行していく姿を見ることができました。その経験があったことから、自分の立場で何かできることはないかと考えながら、業務に専念しています。 自分が担当している業務が、どこからでも身近な人に関係していると実感することができるため、責任感を持って仕事に励みます。	畜産農家を巡回するなど現場での仕事も多く、直接農家さんからお話をうかがうことができます。自分が移植した受精卵の子牛が生まれた時など、携わった仕事で感謝された時は特にやりがいを感じます。
先輩職員からメッセージ	鹿児島市の変わらない良さを活かしながら、時代と共に変わり続ける課題に対して、働きかけることのできるやりがいのある仕事です。ぜひ、鹿児島市役所職員として、一緒に働きましょう。	鹿児島市役所では、他の公務員獣医師では経験できない幅広い業務があり、さまざまな経験ができるので、とても楽しいです♪ さらに、獣医師としてのやりがいを感じながら、自分の時間をもつことができるので、趣味や家族との時間も大切にできる点も魅力のひとつです。 ぜひ一緒に鹿児島市で働きましょう!!!

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○新規採用職員へのサポート 採用されてから1年間は職場の先輩職員1人が身近な相談役としてサポートします。また、所属係長や保健師との定期面談もあります。 ○充実した研修制度 新規採用研修、採用年数に応じた研修、職位 (主査、係長、課長等) に応じた研修のほか、海外派遣研修も行っています。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、夏期休暇 (5日)、結婚休暇 (7日)、産前産後休暇、育児休業、子の看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。なお、令和6年度の男性の育児休業取得率は85.2%です! (女性は100%です。) ○各種手当 住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、期末手当及び勤勉手当等がそれぞれの支給要件に応じて支給されます。また、獣医師は、支給要件に応じて初任給調整手当が支給されます。
---------	---

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	448.15
人口	99,654
男	47,748
女	51,906
世帯数	51,145

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	766
一般行政	571
教育	123
消防	0
公営企業等	72
平均年齢	44.0

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

<p>特徴・魅力</p> <p>鹿屋市は本土最南端へと伸びる大隅半島のほぼ中央に位置し、人口は約10万人で古くから大隅地域の交通・産業・経済・文化の拠点として役割を担っています。市の北部には壮大な高隈山系が連なり、西部は、鹿児島湾に面して美しい海岸線が見られ、南部は、吾平山丘陵を有する山林地帯となっております。1年を通じて温暖な気候や豊かな自然環境に恵まれ、第1次産業を基幹産業として全国でも有数の食料供給基地を形成するとともに、日本最大級の『かのやばら園』や国立大学法人鹿屋体育大学などの施設も集積しています。</p>	<p>主なイベント (年間行事)</p> <p>4～5月・10～11月…かのやばら祭り (日本最大級の規模を誇る「かのやばら園」で、春と秋の開花シーズンに合わせて開催されます。) 4月…エアームズinかのや (海上自衛隊鹿屋航空基地の開隊記念日に合わせて、航空ショーをメインに開催されるイベントです。) 8月…かのや夏祭り (南国情緒豊かで陽気なハンヤ節に合わせて市街地を踊り練り歩く「総踊り」など、夏の風物詩として多くの人々にぎわいます。)</p>
<p>目指すまちの姿 (ビジョン)</p> <p>ひとが元気! まちが元気! 「未来につながる健康都市かのや」</p> <p>基本目標① やってみたい仕事ができるまち 基本目標② いつでも訪れやすいまち 基本目標③ 子育てしやすいまち 基本目標④ 未来につながる住みよいまち 基本目標⑤ ともに支え合い、いきいきと暮らせるまち</p>	<p>求める職員像</p> <p>①新たな時代の変化を的確に捉え、積極果敢に挑戦する職員 ②経営型行政の実現を目指し、自己変革に努める職員 ③市民と協働で活力に満ちた魅力ある地域を創造する職員</p>

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種		
志望した理由	<p>鹿屋市ホームページに「先輩職員の声」を動画で掲載しています。ぜひ御覧ください。</p> <p>【掲載ページ】 鹿屋市ホームページ (https://www.city.kanoya.lg.jp/)</p> <p>ホーム > 市政情報 > 職員・給与 > 職員採用 > 鹿屋市職員募集 > 先輩職員の声</p>	
入ってみたらこんな職場		
仕事のやりがい (印象に残っていること)		
先輩職員からメッセージ		

IV 職場の環境等

<p>主な制度・取組</p>	<p>○ジョブトレーナー制度 入庁後1年間、同じ部署に所属する比較的年齢に近い職員が「ジョブトレーナー」として、新規採用職員をしっかりサポートします。業務以外も含めて、何か分からないことがあればすぐに相談できる体制を整えています。</p> <p>○柔軟な働き方 ライフスタイルにあわせてテレワークや時差出勤が可能です。</p> <p>○資格取得の促進 対象資格を取得した場合、受験料や資格取得のための学費などの一部を助成し、職員の専門性の向上や自己啓発の取組を支援しています。</p> <p>○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、結婚休暇 (5日)、産前産後休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。</p> <p>○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。</p>
-----------------------	---

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	74.78
人口	18,898
男	8,707
女	10,191
世帯数	10,355

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	321
一般行政	180
教育	25
消防	42
公営企業等	74
平均年齢	40.3

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	鹿児島県薩摩半島の南端に位置する当市は、東は南九州市知覧町、北は南九州市川辺町および南さつま市加世田、西は南さつま市坊津町に接し、南は広大な東シナ海に臨む景勝の地にあり、その形状はほぼ五角形です。 市域は、東西12km、南北10kmで、面積74.78平方キロメートルとなっています。 当市の地勢は、市の北部にある主峰蔵多山から東西に延びる周辺の山地と、花渡川流域の中央平地や国見岳の南麓に広がる東西の両台地、それに枕崎港を中心とする海岸線に区分されます。	主なイベント (年間行事)	5月…こどもの日かつおまつり こどもの日と初鯉の時期が重なることから、子どもの健やかな成長を枕崎特産の縁起魚「かつお」にあやからうと始められた祭りです。かつお一本釣り大会や鯉節削り大会など、枕崎ならではの催し物が開催されます。 8月…さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつり 「きばらん海」は昭和26年8月から航海の安全と大漁、五穀豊穡、商売繁盛、地場産業の振興を祈念して始められた南薩摩最大の夏祭りです。 まつりのフィナーレを飾る三尺玉火花の打ち上げは九州で最大級。
目指すまちの姿 (ビジョン)	「活力ある地場産業に支えられ 人情味あふれる 安らぎと潤いのある枕崎市」 「すべての人々が健康で幸せに育ち・住まい・活動し・集い・憩い・交流する環境が整ったまち」をつくるため、それぞれの場面に必要な施策を切れ目なく繋げながら「豊かな自然環境の中で過ごすことで心身の安寧を保ち、活力のある地場産業に支えられ着実に進歩することで、安定した潤いのある未来を見通せる暮らしを築いていける枕崎市」を追求していくことを基本理念としています。	求める職員像	①市民志向：市民の満足を最優先に考える職員 ②創造・挑戦：創造と改革に挑戦する職員 ③自立：プロ意識を持ち、自ら考え、主体的に行動する職員 ④優れた経営感覚：効率的な仕事をする職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和2年度 / 一般事務職	平成29年度 / 土木技師
志望した理由	枕崎市に生まれ育ち、県外に進学・就職していました。しかし、一度地元を離れたことで、改めて枕崎の魅力を再認識しました。そこで、自分が県外で学んだ知識や経験を故郷である枕崎市の為に活かしたいと考え、枕崎市役所職員として働くことを志望しました。	きっかけは、道路の脇で三脚に大きな機械を乗せて何かをのぞいている作業風景を見かけたことです。初めて目にするその作業風景が不思議で興味をもちました。 それから土木を学べる高校へ進学し、市役所にも土木技師という職業があることを知り志望しました。
入ってみたらこんな職場	市役所に入庁する前は「公務員＝堅苦しい」という先入観を持っていました。事実としては、業務の中には堅苦しい部分もあります。しかし、職員一人一人や職場の雰囲気も堅苦しいかというようではありません。 職場には、肩書きや年齢差に関係なく、互いに助け合う文化が根付いています。枕崎市民のために職員全員が連携し、それぞれの個性や適性を活かしながら、ひとつのチームとして業務に当たっている印象です。	設計書や図面の作成だけでなく、工事の発注、契約業務や補助金事業、施設の管理など、幅広い業務に携わります。業務を進める上で、民間企業や工事対象エリアの住民などさまざまな立場の人の間に立つて調整する必要があるため、円滑なコミュニケーションが求められる職場だと思いました。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	業務を行う中で、市民の方から「ご苦労様」「ありがとう」など声を掛けていただく機会が多くあります。このようなときに自分と地域とのつながりや、自分の仕事が生かされているという実感を得ることができ、日々の業務のモチベーションにつながっています。	業者の方々と一緒に悩みながら試行錯誤して完成した現場で、「便利になった」、「きれいになった」など感謝の言葉をいただくことがあります。仕事の成果が目に見えることがやりがいであり魅力だと感じています。
先輩職員からメッセージ	枕崎市役所には頼りになる先輩や上司がたくさんいます。新規採用職員を含めた若手職員に対するサポートは特に手厚く感じます。行政職に不安を抱えている方も、「枕崎の為に何かをしたい」という気持ちだけをもって枕崎市役所に来ていただければと思います。私を含めた職員が全力でサポートします。	市役所の仕事は驚くほど多種多様です。その中でも、土木職は道路や構造物をつくっていく過程や完成した達成感など、土木職ならではのやりがいのある仕事なので、ぜひ挑戦してみてください。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○新規採用職員へのサポート 採用直後に行われる「新規採用職員等実務研修」や各種サポート研修のほか、同じ部署に所属する先輩職員が入庁1年目の新規採用職員をしっかりサポートします。 ○優秀な職員に対する評価の反映 人事評価を導入し、成績優秀者には給与等にしっかり結果を反映します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇(年20日)、結婚休暇(7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
----------------	---

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	329.98
人口	51,405
男	24,338
女	27,067
世帯数	25,953

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	935
一般行政	381
教育	103
消防	72
公営企業等	379
平均年齢	42.2

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	本市は、鹿児島県の北西部に位置し、陸の三方は阿久根市、薩摩川内市、さつま町、伊佐市及び熊本県水俣市に接しています。紫尾や矢筈の山々を背にし、八代海（不知火海）に面した広大な平野に多くのツルが越冬する豊かな自然と武家屋敷群をはじめとする由緒ある歴史を有するまちです。	主なイベント (年間行事)	7月…夏祭りいずみ鶴翔祭 10月…いずみマチ・テラス (出水市の人口と同規模の数である5万本以上の竹灯籠でまちを照らす竹灯籠イベントです。) 11月…出水市大産業祭 (出水市内の産業イベント。出水市の特産品だけでなく、友好都市や姉妹都市の特産品も購入できます。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	「みんなでつくる活力都市 住みたいまち 出水市」 人口減少と少子高齢化が進行し、大きく変化し続ける時代において、豊かな自然と由緒ある歴史を持つ出水市が、今後も安心して暮らせるまちであるためには、市民一人ひとりが力を合わせて、活力ある産業や支え合いのまちを創っていく必要があります。誰もが、ここに住みたい、住み続けたいと思えるまちを目指します。	求める職員像	・高い志とプロ意識をもつ ・市民に寄り添う ・未来を切り拓く

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和4年度 / 一般事務職	令和4年度 / 建築技術職
志望した理由	大学時代にゼミで学んだ社会福祉の知識を活かし、子どもが生活しやすい地域づくりに携わりたいと考えたからです。きっかけは、学生時代に子育て支援ボランティア活動へ参加したこと。支援を必要としている保護者の方の切なる思いを耳にし、行政による環境整備が必要だと痛感しました。また、全国的に社会問題となっているいじめや児童虐待において、鹿児島県も例外でなく、年々増加傾向にあります。市職員としてこのような課題の解決に尽力し、子育てしやすいまちづくりに貢献したいと考え志望しました。	出水市の歴史ある街並みと建築物・景観をこの先の未来へ、いつまでも受け継がれるよう残し、守り続けていきたいからです。また、職員のエネルギーと市民の方々の街への愛と協同力に惹かれたからです。
入ってみたら こんな職場	業務にあたる中で判断に困る場合等もありますが、その都度正しい知識や根拠を確認して進めていくことで、入庁前には知る機会がなかった分野についての知見が広がりました。	厳しいイメージでしたが、実際は皆さん大変優しく和やかで、仕事も丁寧に教えてくれます。また、一つ一つの業務にも熱心で真面目さを感じています。さらに、市民の皆さんや仕事仲間など、常に相手目線に立って物事を考えられている姿も入庁して、素晴らしいと感じたことです。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	関係機関の方々と随時連携を取りながら、市政発展のために業務を行えることが魅力だと思います。また、様々な方との関わりを通じて、新たな発見や刺激を頂いています。	この仕事の魅力は、建物が完成する一連に携われることと、自分が関わった建物が地図に載ることだと思います。また、市民の皆さんが私たちの関わった建物を使用するところを見ると、より一層自分の仕事に対してやりがいを感じる事ができると思っています。
先輩職員から メッセージ	実際に市役所で働いてみて、入庁する前よりも今の仕事や職場環境に魅力を感じています。公私ともに充実した生活を送ることができる「ワークライフバランス」や風通しのいい職場、個性的で面白い職員もたくさんいます。多様な業務に関わりたい方、社会に新たな付加価値を生み出したい方、そして何より出水に魅力を感じている方。出水市役所でお待ちしています。	私は、歴史を大切に、自然が美しい出水市に魅了された一人です。職員の皆さんは、そのようなまちの特性を一番考えてまちづくりをしています。歴史と自然が素晴らしく、食も魅力あふれたこのまちでぜひ一緒に建築士としてまちをつくりましょう！

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○メンター制度 ○テレワーク、時差出勤 ○年次有給休暇(年20日)、結婚休暇(7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等 ○期末手当や勤続手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給
---------	---

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	148.82
人口	37,207
男	17,355
女	19,852
世帯数	19,559

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。
 ※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	451
一般行政	322
教育	78
消防	0
公営企業等	51
平均年齢	40.2

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	当市は、薩摩半島の最南端、錦江湾口に位置し、観光業と農業が盛んな街です。 九州一の大きさを誇る池田湖、標高924メートルの薩摩富士の別名で呼ばれる秀峰開聞岳、南国ムード漂う長崎鼻、潮の干満で陸続きになる知林ヶ島を有しています。 ほかに、世界的にも珍しい「天然砂むし温泉」や1日に10万トンも湧き出る清水を利用した「唐船峡そうめん流し」など観光資源が豊富で、年間約300万人の観光客が訪れます。	主なイベント (年間行事)	1月 いぶすき菜の花マラソン いぶすき菜の花マーチ 4月 九州オールドカーフェスタ in 開聞 6月 山川みなと祭り いぶすきフラフェスティバル 8月 かいもん夏祭り 9月 指宿温泉祭 12月 いぶすき産業まつり 山川ふるさと歳の市
目指すまちの姿 (ビジョン)	「地域資源を最大限活用」するまちづくり 「生活の質の向上」を目指すまちづくり 「人づくり」を重視するまちづくり 「一人ひとりが輝く」まちづくり を基本理念とし、『豊かな資源が織りなす食と健康のまち』を将来都市像に掲げています。	求める職員像	“市民と共に 指宿の未来を描き 熱い情熱を持ち挑戦する” 職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和4年度 / 一般事務	令和3年度 / 技師 (保健師)
志望した理由	今まで培った経験を生まれ育った故郷に返したいと思い応募しました。また前職では休日を取得できなかったのが基本的な土日祝日が休日の公務員のライフワークに大きな魅力を感じていました。	卒業して2年間は看護師として病院で働いていましたが、入院している方だけでなく地域で生活する方の支援ができる保健師の仕事がしたいという思いはずっとありました。そんな中、保健師として働く同級生から仕事の話の話を聞いたり、熱心に指導してくれていた先輩看護師が保健師に転職したこと等がきっかけで「やっぱり保健師として働きたい」という思いが強くなり、保健師を募集していた指宿市を志望しました。
入ってみたらこんな職場	広報の仕事に携わっていますが、行政職の中でも異色の仕事だと思っています。写真撮影や広報紙の編集作業するのでカメラや画像編集ソフトなど専門的な知識を必要とします。広報紙では各課の政策を取り上げているため、俯瞰で市役所の多くの事業を学ぶことができます。残業がほとんどなく、休日もしっかりと休めます。また、有休を5日以上取得することに職場全体が積極的で、効率的な仕事の仕方を考える環境があります。	指宿市は同じ係に保健師が複数人配置されており、困ったときや判断に迷ったときには、すぐに先輩保健師から助言をもらうことができるため、フォロー体制が整っていると感じます。さらに、入職して最初の1年は、先輩保健師が指導担当として1人付いてくれます。最初の頃は先輩と一緒に訪問や担当者会議に行き、仕事で困っているときには声をかけてくれ、何でも相談することができたため、安心して働くことができましたと思います。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	初めて自分が撮影した写真が表紙を飾った時はとてもうれしかったです。取材を受けていただいた方からも広報紙に掲載してから良い影響があったと言ってもらえたり、特集などでは市の政策を市民の方に分かりやすく伝える工夫をしたり、やりがいがある仕事だと思っています。	母子保健を主に担当していますが、初めての子育てに不安を抱えている方やお子さんの成長・発達を心配している方にたくさん出会っています。保健師として情報提供をしたり、必要な支援につながるよう関わる中で、「〇〇が知れてよかった」「〇〇ができて安心した」と、表情が和らぐ様子が見れたり、いろんな方に見守られながらすくすくと成長し、元気いっぱい遊ぶお子さんの姿を見れたとき、心からよかったと思え、自分自身も元気をもらっています。
先輩職員からメッセージ	公務員は休日と給与が安定しており、ワークライフバランスもとれている職場だと思います。市民と関わる機会も多く、これまで学んできた経験が活かせる職業だと思います。県内屈指の観光地である指宿のために一緒に働いてみませんか。	地域の方々の生活を身近で支援するという事は、市の保健師だからこそできることだと思います。ぜひ指宿市の職員として一緒に働きましょう！

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○アロハシャツで働きやすい環境 4月末～10月までアロハシャツが市民のユニフォームになり、職員もそれに合わせてアロハシャツを着用します。 ○新規採用職員へのサポート 同じ係内で「指導担当者」がサポートする『ブラザー＆シスター制度』により、仕事などの相談をしやすくします。 ○優秀な職員に対する評価の反映 人事評価を導入し、賞与に結果を反映します。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、夏季特別休暇、結婚休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
----------------	---



I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	112.3
人口	25,808
男	12,237
女	13,571
世帯数	13,153

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	309
一般行政	189
教育	35
消防	51
公営企業等	34
平均年齢	43.4

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	いちき串木野市は、薩摩半島の北西部・東シナ海に面し、日本三大砂丘のひとつである吹上浜の北部に位置しています。 温暖な気候で、薩摩藩留學生渡欧の地としての歴史文化や徐福伝説、焼酎・つけあげなどの地元特産品を有しています。 また、市内には申請でおいしいまぐろ料理を提供している店が多数あり、さつまあげ発祥の地でもあるほか、焼酎蔵も多いなど、鹿児島らしい食の魅力がいっぱいです。	主なイベント (年間行事)	<ul style="list-style-type: none"> 冠嶽トレイルランニング (2月) 観音ヶ池さくら祭り (3月) 串木野浜競馬 (4月) 串木野さのさ祭り (7月) いちき串木野サマーフェスタ・祇園祭 (7月) 七夕踊 (8月) いちき串木野産業まつり (10月)
目指すまちの姿 (ビジョン)	本市の第2期総合戦略において、下記の4つを目指すべき将来の方向性と定めています。 ①若い世代の転入促進と出生数の増加 ②女性にやさしく、女性が活躍できる社会づくり ③雇用創出とUターン促進 ④愛着や誇りを育み、ずっと住み続けたいまちの実現	求める職員像	<ul style="list-style-type: none"> 礼儀正しさ 責任感 協調性 法令順守 のほかに <ul style="list-style-type: none"> 市民の期待や不安に答え、頼りになる 市民と共に考え、共に行動し、前進する 職員を求めており、人物重視の採用試験を行っています

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 ／職種	令和5年度／一般事務	令和5年度／土木技師
志望した理由	私は、人に喜んでもらったり、人の役に立ったりすることに生きがいを感じ、市民の方々の1番身近な場所であり悩みを一緒に考え、本市に携わる人々が笑顔で暮らせるような地域づくりに貢献したいと思い、地域住民の方々と深く関わることのできる市役所職員を志望しました。	本市が持つ豊かな魅力を守りつづ、住民の皆様が安心して暮らせるまちづくりに貢献したいと思い応募しました。 土木分野での学びを活かし、防災を意識したインフラ整備や老朽化した施設の保全、災害リスクを軽減する取組に携わりたいと考えています。 いちき串木野市の発展と住民の安全を支えるため、常に学び続け、責任感をもって職務に当たりたいと考え、応募しました。
入ってみたら こんな職場	様々な課が互いに連携し合って日々業務を行っており、自分の所属課だけでなく多くの職員とコミュニケーションを取りながら働いています。 日々挑戦とやりがいの連続なのでとても楽しいです。 業務を通して人との繋がりが広がり、色々な面で学ぶことも多いので働きやすい環境だと思います。	前職では民間の建設会社でインフラ整備を行ってききましたが、現在は農政課の一員として、主に農道、林道、ダムの管理、農家さんからの要望の対応、工事の執行、県との調整業務等を主に行っています。 ハード関係の業務がメインのため、営農に直結することが多いので、農家さんからの意見を聞きながら慎重に業務を行っています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	実際に現場に出て活動することも多いので、施設を利用されている方と直接お話しする機会もあり、市民の方とコミュニケーションを取りながら楽しく業務を行っています。	先日、自分が入庁して初めて担当した現場が完成しました。 前職では工事を自ら行う立場でしたが、工事を発注し、受注業者とのやり取りし管理する立場となり、初めての完成を迎え、その工事を行うことで市民の方から喜んで頂いたことでとてもやりがいを感じました。
先輩職員から メッセージ	幅広い業務に携わり、様々な経験をしながらまちや人のために全力で働けるのが、この仕事のいいところです！	私は社会人経験を経て30歳代で入庁しました。 前職での仕事内容が現在の業務に活かせているので、社会人経験者でも全然大丈夫です！

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○新規採用職員へのサポート 同じ部署に所属する「指導職員」が入庁後6か月間、新規採用職員をしっかりサポートします。 ○毎月1回の新規採用職員研修 本市のことや市役所業務を学ぶために毎月1回の研修を行っており、学びながら同期の交流を図っています。 ○仕事と生活の両立 毎週水曜日のノー残業デーや毎月1日以上のリフレッシュ休暇の取得を推進して、職員の働きやすい環境づくりに努めています。 ○各種手当 年2回の期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当や住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	--

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	283.59
人口	31,094
男	14,540
女	16,554
世帯数	16,619

※面積は全都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。
 ※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	487
一般行政	311
教育	36
消防	85
公営企業等	55
平均年齢	42.1

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	鹿児島県の西南端に位置し、三方を海に囲まれた自然豊かなまちで、国の名勝「坊津」や坊野間県立自然公園の指定を受けた景勝地を有しています。太平洋戦争末期には最後の特攻隊の出撃地、万世飛行場があった地でもあり、現在は、飛行場跡地に「万世特攻平和祈念館」を建立し、歴史・記憶を継承しています。観光面では、砂丘地の砂を活用した「吹上浜砂の祭典」を毎年5月に開催するほか、海山の豊かな自然を生かした各種アクティビティ、自転車を活用した特色あるまちづくりを行っています。	主なイベント (年間行事)	5月…吹上浜砂の祭典 市役所を中心とした「まちなか」で開催される、日本で最も古い歴史を持つ砂のイベント。砂だけで作られる精巧な砂像を各所に配置し鑑賞いただけるほか、各種体験コーナーやグルメ、日本遺産に登録される武家屋敷群のまち歩きなどを楽しめます。 5月…ツール・ド・南さつま 20年以上続くサイクルイベント。雄大な自然景観や起伏に富んだ走りごたえのあるコースを、各々のペースで楽しめます。沿道からの声援や充実したエイドステーションなどで地元住民との交流も、魅力の一つです。
目指すまちの姿 (ビジョン)	「住みたい 働きたい 訪れたい 誰もが主役になれる 南さつま」 住む人・通う人・想いを寄せる人、誰もが主役になれる「住みたい 働きたい 訪れたい」魅力あふれるまちづくりを力強く推進することで、次世代へつなぐ持続可能な南さつま市を目指します。	求める職員像	①市民を思い、目線を合わせ、まちのために働くことができる職員 ②夢を持ち、まちの未来を語るができる職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和3年度 / 一般行政職 (企業経験者)	令和3年度 / 土木技術職 (高校卒業)
志望した理由	大学進学と共に県外へ転出し、東京・福岡で企画・営業職として働いていたところ、地元鹿児島に貢献したいという思いから転職を考えはじめ、最も直接的に活躍できるのが市役所だと思い至り、出身である南さつま市役所を志望しました。	高校で「土木」が人々の快適な暮らしを支え多くの人々の生命や財産を守っていることを学び、人の役に立ち地域に貢献できる公務員の仕事に興味を持つようになりました。南さつま市に地縁はありませんでしたが、移住定住や子育て支援など積極的に取り組む様子に魅力を感じ、土木の面からインフラ整備、防災面で貢献したいと思い志望しました。
入ってみたらこんな職場	職種は一般事務職ですが、前職の経験 (企画・営業) を生かし、新規事業の企画立案にも積極的に取り組んでいます。職場内のコミュニケーションも活発で、率直な意見交換ができ、風通しの良い職場風土だと感じています。また、職場環境が良いことはもちろん、生活環境もとても落ち着いていて静かな所だと思います。生活するには困らない位に様々なお店があるので、スローライフかつ快適な日々を送れると思います。	現在、建設部建設整備課に所属し、土木工事の設計や発注を行っており、工事が円滑に進むように業者との打合せを密にとることを心掛けています。また、高校で硬式野球部に所属していたこともあり、現在は、市役所のソフトボールチームに参加しています。学生時代と比べると体を動かす機会が減るので、とても良いリフレッシュになっていて、業務で関わる機会の少ない人との交流にも繋がっています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	1年目からでも自分が計画した事業やイベントなどに取り組める職場なので、計画が進んで形になった時に大変な事もありますが、やってみて良かったと感じます。例えば、農産物PRの業務で関東圏でイベントを企画することとなり、それまで都庁で行っていたイベントをより大きいものにしたと思い、知人を介しメディアPRも見込めるTBSとのコラボ企画を実現できました。	担当する工事が完成した時にやりがいを感じます。業者と何度も打合せをし、苦労しながらも工事が完成すると、とても自分の成長を感じることができず。また、工事場所付近を通るとき、市民が安全に生活をしているのを見るときにもやりがいを感じます。
先輩職員からメッセージ	市役所に転職するまで県外で企画・営業の職業を複数経験しましたが、時と共に地元に対する思いが大きくなり、子育て等のライフステージの変化に合わせて、転職を決意しました。仕事のやりがいはもちろんのこと、働きやすい環境や子育て環境など、転職をして良かったと感じています。仕事のやりがいや働きやすさなど魅力ある職場ですので、より良いまちづくりのためぜひ一緒に頑張りましょう。	初めての就職、初めての一人暮らしで当初は不安がいっぱいでしたが、先輩や同僚、地域の方々にとっても親切にもらい、今では公私ともにとても充実した生活を送っています。工事の発注等で市民生活に直接貢献できるだけだけでなく、中長期的な整備計画などまちの未来を創る仕事に携われます。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○新規採用職員へのサポート 同じ部署に所属する「育成指導者」が、入庁1年目の新規採用職員をしっかりサポートします。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、夏季休暇 (3日)、結婚休暇 (5日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	---

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	290.21
人口	28,688
男	13,779
女	14,909
世帯数	15,080

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R6.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R6.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	315
一般行政	251
教育	34
消防	0
公営企業等	30
平均年齢	42.8

※令和5年度給与実態調査等 (R5.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	当市は鹿児島県東部、志布志湾の湾奥ほぼ中央に位置し、東部は宮崎県串間市、西部は大崎町、北部は曾於市と境をなし、その一部は宮崎県都城と接しています。当市の強みは、九州唯一の国際バルク指定港湾（穀物）に選定されている志布志港であり、南九州地域の国内・国際物流の拠点となっています。また、東九州自動車道や都城・志布志道路の整備も進んでおり、今後更なる相乗効果が期待されます。当市の魅力は豊かな自然や歴史であり、海や山はもちろん、国指定文化財である志布志城跡や武家屋敷の見学ができる志布志麓地区の散策も人気があります。	主なイベント (年間行事)	4月…お釈迦まつり 県下三大祭りである「お釈迦まつり」のメインは花嫁を乗せたジャンジャン馬や踊り連バレード。多くの市民も参加し、県内外から多くの観光客が訪れる大祭です。 9月…みなとまつり 志布志港旅客船埠頭を舞台に、約10,000発の花火が夜空と海面を彩ります。 11月…やっつく松山藩 秋の陣まつり 期間中のみ見ることができ「幻の一夜城」や奉納武者行列は迫力があり見ものです。
目指すまちの姿 (ビジョン)	未来へ躍動する創造都市 志布志 ①「郷と郷」「人と人」「物と物」のつながりあるまち ②自然や風土と共生する安心で豊かなまち ③大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち ④生き生きと笑顔で暮らせるまち ⑤心豊かで志あふれる人づくりと伝統・文化のまち ⑥人と地域が輝く共生・協働・自立のまち	求める職員像	<ul style="list-style-type: none"> 市民生活の向上や地域発展に喜びを感じられる 問題意識や改善意識を持ち、向上心がある 周りと協力し、責任感を持ち粘り強く取り組める 困難にも果敢に挑戦し、チャレンジ意欲や成長意欲がある 深い郷土愛を持ち、人間性豊かで魅力がある

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和2年度 / 一般事務	令和5年度 / 保健師
志望した理由	地元は市外ですが、幼いころによく遊びに来ていました。そこで感じていた温かさ等をこれからもつないでいきたいと思い、本市を志望しました。	人々の住み慣れた地域での暮らしに寄り添いたいと思い、行政保健師として働きたいと考えようになりました。志布志市で大学の実習を行い、地域包括支援センターも直営でことから高齢者まであらゆる世代の方にかかわることができることに魅力を感じ、志布志市を志望しました。
入ってみたらこんな職場	地元が違う私に対しても先輩方が温かく接してくださり、分からないことがあれば気軽に先輩方に相談できる職場です。基本的には土日祝日が休みですが、災害や火災が発生した際には、休みの日も出勤して対応することがあります。決して楽な仕事ではありませんが、お互いが協力し合って業務に取り組んでいます。	現在は成人保健分野を担当しており、特定健診を受けていただいた方の家に訪問したり、健診結果の説明を行っています。市民の皆さんとお話する機会も多く、地域の方々と直接かかわっていく楽しさが大きな魅力です。また、部署内に複数の先輩がおり、助言をいただきながら、業務を進めることができます。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	今年の4月に初めての異動で、危機管理部署に来ましたが、今まであまり意識していなかった台風や地震等の災害に直面し、自分の無力さを思い知らされ、毎日の業務が勉強です。ただ、避難所開設の際に、避難者の方から「お家が怖かったから、避難所に来られてよかった」のようなお声をいただくようなときは、やりがいを感じます。まだまだ勉強ばかりですが、先輩方から指導いただき、知識・技能の習得に努め、自分の業務に取り組むことが出来ています。	関わりを通して、対象の方にどうしたらわかりやすく伝えられるか、やる気を引き出せるか迷うこともありますが、面接をした後に「あれからアルコールをやめたんだよ」「運動を継続しているよ」と話してくださったり、面接をした方が生き生きと生活されている姿を見ると、とてもやりがいを感じます。
先輩職員からメッセージ	市役所の職員は、市内外の様々な人と関わる仕事です。人のために働くことをやりがいのできる仕事と同時に、人から求められる役割も大きな仕事です。また、市役所の仕事は、必ずしもやりたい仕事ができるとは限りませんが、そのひとつひとつが志布志市をよりよくすることに繋がっています。志布志市役所で共にたくさんのごことを学びましょう。	志布志市の保健師として、市民の方の健康と生活を一緒に支援していきませんか？皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○新規採用職員へのサポート 同じ部署に所属する「指導職員」が入庁後6か月、新規採用職員をしっかりサポートします。 ○柔軟な働き方 テレワークや時差出勤制度を導入しており、多様なライフスタイルに対応できるよう努めています。 ○若年層での交流 若年層で組織される団体があり、ボランティア活動や懇親会を通じて、普段業務で関わることのない職員とも積極的に交流を図ることができます。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、結婚休暇 (5日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇、夏季休暇 (5日) 等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	---

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	231.25
人口	78,123
男	36,847
女	41,276
世帯数	38,622

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。
※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。
(2) 職員数等

職員数 (人)	570
一般行政	374
教育	61
消防	98
公営企業等	37
平均年齢	41.3

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。

II 自治体の紹介

特徴・魅力	始良市は、鹿児島県のほぼ中央に位置し、薩摩・大隅両半島の分岐点にあたります。 鹿児島市・霧島市・薩摩川内市と接しており、鹿児島空港や鹿児島港へも近く、交通アクセスに恵まれているため、これからも大きく発展することが期待されています。 また、始良市は、国の民族文化財に指定されている「加治木町くも合戦」をはじめ、各地域に多くの伝統行事が受け継がれており、古い歴史と文化に育まれているまちです。 ちなみに、民間企業の調査において、県内住みこちランキング5年連続一位となっています。	主なイベント (年間行事)	6月…加治木町くも合戦大会 8月…始良市花火大会、加治木・蒲生太鼓踊り 11月…日本一大楠とんと秋まつり 2月…薩摩おいどんカップ 3月…あいら春まつり
目指すまちの姿 (ビジョン)	可能性全開！夢と希望をはぐくむまちづくり ～ひとりひとりが主役 住みよい県央都市 あいら～ 本市は、自然災害から市民を守り、県内に位置する利便性や、自然の恵み、豊富な人材による知徳を活かしながら、都市的な機能の田園が融合したまちとして、持続的に発展させるために、本市の持つ潜在的な可能性を活かし、市民と一体となった、多様性豊かな魅力あるまちづくりを進めます。	求める職員像	1 地域社会への貢献意欲と使命感のある職員 2 政策形成能力を持つ職員 3 コミュニケーション能力を持つ職員 4 人間性豊かで、協調性とバランス感覚のある職員 5 時代の変化に対応できる創造性豊かな職員 6 幅広い視野と柔軟な発想を持ち、行動力・実行力のある職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	R7年度採用 / 一般事務	R7年度採用 / 土木技師
志望した理由	鹿児島県内で市役所職員として働きたいと考え、人口が増え続けている始良市に注目しました。調べていくうちに都市・歴史文化・自然の調和のとれたまちの魅力に惹かれ、「ここで働きたい」と強く思うようになり始良市を志望しました。	生まれ育ったこの始良市にとっても愛着があり、土木を通して活気あふれる街づくりに貢献できるような仕事に携わりたいと思い志望しました。
入ってみたらこんな職場	すべての業務を完璧に覚える必要はなく、それよりも自分の言葉で説明できる力が大切だと感じました。学生の頃以上にアウトプット力が求められる仕事だと思います。また、周囲と助け合いながら日々業務に取り組んでいます。困ったときには相談しやすく、あたたかい雰囲気の中で成長できる環境です。	思っていたよりも、市民の方からの道路に関する要望が多いと感じました。市民にとって不便な点が少なくなるように、より道路を気にかけて、維持管理に努めていきたいと思いました。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	知識がないなかで、はじめは教えていただいてもなかなか理解できませんでしたが、ちょっとずつ分かることが増えていくのは楽しいです。また、窓口対応をしていく中で、スムーズに対応できた時はやりがいを感じます。	自分が今まで通ってきた道路などの工事に携わり、その道路がより良いものになったときに、始良市に貢献していると強く実感できることが魅力だと感じています。
先輩職員からメッセージ	不安もあると思いますが、準備を重ねた分だけ自信になります。残りの限られた時間の中で体調管理に気を付けながら頑張ってください。皆さんと一緒に働ける日が来ることを、心から楽しみにしています！	試験も面接もリラックスして臨むことが大切だと思っています。自分のベストを尽くせるよう、頑張ってください！

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○研修制度…新規採用職員を対象とした各種研修、人権啓発研修や人事評価研修などの独自研修、職員のスキルアップのための市外・県外研修等をおこなっています。 ○休暇制度…年次有給休暇 (20日)、健康増進休暇 (5日)、結婚休暇 (7日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。 ○各種手当…期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。 ○部活動…野球部、バレーボール、サッカー、ソフトボールなどオフィシャルな部活動が13団体あり、職員間で特技を活かしたワークライフバランスの維持が行われています。そのほかオフィシャルではないですが、釣りや育児、カメラ、歴史など趣味の範囲で独自に活動している職員もいます。
----------------	--



I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	27.78
人口	6,361
男	3,020
女	3,341
世帯数	3,250

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	92
一般行政	73
教育	10
消防	0
公営企業等	9
平均年齢	39.8

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	東串良町は、鹿児島県大隅半島のほぼ中央東端にあり、肝属平野にいだかれた町内は、傾斜地がなく緩やかで、平坦な地形となっています。気候は黒潮の影響を受けて温暖で、年間平均気温は17度。雨が多く、九州の特徴である台風上陸は年数回あります。このような特徴から本町は古くから施設園芸と超早場米の一大産地となっています。また、昔から海との関わりは強く、本町を流れる肝属川河口は、天然の良港として栄え、中国との文化・交流が盛んで外国貿易の根拠地であったと伝えられています。明治維新後も沖縄、南西諸島との交易があり、大正時代には大阪商船が週2回寄港し、旅客、貨物の輸送が行われていました。昭和になり、物流の変化から面影はありませんが、変わりに、柏原海岸沖合500メートルに国家石油備蓄基地が建設され、大型タンカーが入航するようになり、新しい名物となっています。	主なイベント (年間行事)	<ul style="list-style-type: none"> ○4月上旬 ルーピン祭り ○5月 柏原大相撲 ○8月中旬 祇園祭 ○11月上旬 KAGOSHIMA outside Festival
目指すまちの姿 (ビジョン)	「個性豊かな活力あるまち」の創造を基本理念とし、「住みたいまち東串良」、「住んでよかったまち東串良」を目指します。	求める職員像	<p>研修等を通じて、町民のニーズを的確に捉え、政策形成能力・問題解決能力・国際化・情報化の進展、環境問題に対応できる職員の育成に努めます。</p> <p>また、柔軟で協調性のある職員を求めます。</p>

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	令和3年度/一般行政職	令和5年度/保健師
志望した理由	自分が子どもの頃から今まで過ごしてきた地域の方々の温かさや東串良町の魅力をこれからに伝えていくことがこれまで過ごしてきた東串良町への恩返し・貢献になると考え、それを実現することができるのが東串良町役場職員になることだと考え、志望しました。	東串良町で育ったピーマンや美しく咲き誇るルーピンが好きで、そのような自然豊かな環境で働きながら、住民に寄り添った保健師活動を行いたいという思いから志望しました。
入ってみたら こんな職場	入庁前は高校を卒業し、初めて社会にでるということもあり不安でいっぱいでしたが、毎日業務を行っていく中で先輩職員の支えもあり、仕事を行うことができました。役場のイメージとして静かに黙々と仕事をしているイメージでしたが、それぞれの課で和気あいあいとした雰囲気や働いているところや他の課の職員との交流もあり、入庁前のイメージとは異なり、明るく楽しい職場です。	入庁前はどんな職場なのか不安もありましたが、困った時には、いつでも親身になって丁寧に話を聞いてくださる上司や先輩がいるため、心強く、安心して業務に取り組むことができています。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	異動する前の課では、東串良町の基幹産業である農業に携わる仕事をしており、農家の方々と接することが多い課でした。そこで、農家の方々の手助けになれるように申請の補助や手続きを行った際に感謝の言葉を掛けられた時にはやりがいを感じました。また、現在の課では町の予算や財政の業務をしており、東串良町の将来を見据えながら業務を行っているので以前所属していた課とは違うやりがいを感じながら業務を行っています。	保健師の業務は、すぐに成果が見えるものではありませんが、育児相談や訪問などを通じて継続的に関わることによって、相談者が前向きに育児に取り組む姿が見られたり、頼ってきてくれた相談者から「相談して良かった」と言われた時には、微力ながらも力になれたのではないかと、やりがいを感じます。
先輩職員から メッセージ	役場の業務は住民の方々のために様々な業務の課があるため、業務は多岐にわたり、内容も幅広いです。自分自身も今年度総務課に異動をし、日々勉強の日々を過ごしていますが、自分の知識や経験を積み上げることができ、自分自身の成長につなげていくことができます。仕事は楽しいことばかりではなく、苦しいことや辛いこともあります先輩職員や同期の助けもあり働くことができます。これからの東串良町のために一緒に働けるのを楽しみにしています。	関わり方に悩むこともあります。幅広い年齢層と関わることができ、多くの出会いがあるため、専門的な技術だけでなく、自分自身も成長できる素敵な職業であり、職場であると感じています。不安なこともあるかもしれませんが、親身になって相談に乗ってくださる先輩職員がたくさんいます。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<p>福利厚生 定期健康診断、人間ドック助成制度、メンタルヘルス対策、公務災害補償、鹿児島県市町村共済組合の福利厚生制度など</p> <p>休暇制度 年次有給休暇(年20日)、夏季休暇、結婚休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇など</p> <p>各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、時間外勤務手当など</p> <p>研修 階層別研修、法制執務研修、人事評価研修、メンタルヘルス研修、県市町村自治研修センターにおける特別研修、Word・Excel研修など</p>
---------	--

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	308.04
人口	13,587
男	6,693
女	6,894
世帯数	7,416

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。
※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。
(2) 職員数等

職員数 (人)	202
一般行政	137
教育	22
消防	0
公営企業等	43
平均年齢	42.8

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。

II 自治体の紹介

特徴・魅力	肝付町は、本土最南端の半島である鹿児島県大隅半島の南東部に位置し、JAXA内之浦宇宙空間観測所があるロケットの町として全国に知られています。 中央部には900m級の山々が連なる国見山系、北部には高隅山系や国見山系を源に発する肝属川の恵みを受けた肝属平野、南東部には急峻な山脈がそのまま太平洋に落ち込み50kmも美しい海岸線が広がり、山と海の豊かな自然に包まれた地域です。 平成17年、平成の大合併により高山町と内之浦町の2町が合併して「肝付町」となっています。	主なイベント (年間行事)	8月…うちのうらロケット祭り 10月…高山やぶさめ祭 (四十九所神社に奉納される流鏝馬に合わせて開催される町最大のイベントです。歩行者天国には露店が並びお祭りムード一色となります。) 11月…内之浦銀河マラソン 不定期…ロケット打上げ (JAXA内之浦宇宙空間観測所からは、人工衛星打ち上げ用固体燃料ロケット「イプシロン」や「観測ロケット」の打上げがあります。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	「自然資源」、「歴史遺産」、「宇宙」というテーマを核として、地域資源を最大限に活用し、またブラッシュアップを行いながら、時代のニーズに合った持続可能で魅力あるまちづくりを推進しています。同時に、町内外から新しい視点を取り入れ、まちの魅力をさらに発掘することで、住民に還元できるシステムづくりを目指します。	求める職員像	①挑戦する職員 意欲的に業務や自己啓発に取り組み、問題意識や改善意識を持って、失敗を恐れず挑戦できる職員。 ②住民目線で考える職員 常に公平・中立の立場で、住民目線のサービス向上や真摯な行動ができる職員。

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	一般事務	技士
志望した理由	学生時代に過ごした肝付町に恩返しをしたいと思い志望しました。	県外に出て学んだ知識を地元への貢献に活かしたいと考えて志望しました。
入って見たらこんな職場	専門的知識や経験がない業務が多く不安でしたが、先輩方から温かくサポートや指導をいただけるのでスムーズに取り組むことができています。	業務に関しては、先輩方から優しく指導いただけるので問題ありませんでした。イベントに対する職員の取り組みや一体感に驚きました。町に対する思いの現れだと考えます。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	担当したイベントや町行事などに従事し、無事に終了した時は、すごく達成感があり次への活力に繋がります。	事業が完成した時に、地元住民から感謝の言葉を頂くことが多くやりがいや、次への活力に繋がります。
先輩職員からメッセージ	町の職員は、地方自治・行政現場の最前線業務を担っています。直接住民と接する業務が多く、業務内容や要望等への対応は、大変なこともあります。同時に大きなやりがいのある仕事でもあります。	住民と接する業務が多く、大変なこともあります。感謝の言葉をもらう機会多くやりがいを感じます。自身の経験や能力向上に繋がる仕事も多く、ステップアップを図れる職場です。

IV 職場の環境等

主な制度・取組	○職員のサポート 新規採用時や1年経過時等の節目や希望に応じて、産業カウンセラーによる相談対応やアドバイス等のサポートを受けることができます。 また、各種のトラブル対応や法律相談を始め、カスタマーハラスメント対応等については、顧問弁護士によるサポートを受けることができます。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、結婚休暇、リフレッシュ休暇、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得により、仕事とプライベートの両方を充実させることができます。 ○各種手当 期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
----------------	---

I 自治体の概要
(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	136.94
人口	7,101
男	3,406
女	3,695
世帯数	3,991

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	146
一般行政	117
教育	16
消防	0
公営企業等	13
平均年齢	40.7

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。


II 自治体の紹介

特徴・魅力	昔から種子島には多くの伝統的な唄や踊りがあり、民謡の宝庫と言われてきました。もちろん中種子町でも各集落の保存会や有志によって郷土芸能が受け継がれています。郷土芸能の保存会を中心に文化祭や農林漁業祭など町のイベントでも披露され、郷土芸能の保存や伝承のため積極的に活動しています。 また、太平洋と東シナ海の間にかかる自然豊かな種子島は山の幸、海の幸が豊富。中種子町の家庭や宴会では、四季折々の天然極上の食材に溢れる島の恵みを家族や仲間と語りながら味わいます。	主なイベント (年間行事)	よいら〜いき祭り (夏祭り) 町民文化祭 町民体育祭 農林漁業祭 町相撲大会 独身男女交流イベント スポーツ合宿 (プロスポーツ選手、実業団、大学、高校のスポーツ先週が年間を通じて来町し、合宿を行っています。)
目指すまちの姿 (ビジョン)	美しいふるさとを自然と、誇り高い伝統を愛し、みんなの力を合わせ限りなく郷土の発展 将来像 「よいら〜いき」でつなぐ人の和と豊かな自然が織りなす”躍動なかたね”」	求める職員像	・長期的な視点にたち、自ら学び、積極的にチャレンジする職員 ・時代の変化や新たな課題への対応力、創造的思考と新しいアイデアを持って地域の発展に寄与する職員 ・自分の役割や責任を理解し、専門のスキルと知識を持って業務に取り組む職員

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度／職種	平成29年度／一般事務職	平成30年度／保健師
志望した理由	地域の人たちの温かさに触れ、豊かな自然と海を感じることができると生まれ育ったこの町に少しでも貢献したいと思い、直接的に活躍できる中種子町役場に志望しました。	中学生の時に、闘病中だった祖母を亡くしたことをきっかけに医療の道へ進みました。高校卒業後は、「いつか地元に戻りたい」という思いを胸に、進学のため地元を離れたのを覚えています。 看護師として働く中で、病気を抱えながらも地域で生活している人の支えになりたいという思いが強くなり、保健師に転職しようと考えている矢先に、地元である中種子町での募集があったため、志望しました。
入ってみたらこんな職場	役所と聞くと堅いイメージになりがちですが、実際の職場は和気あいあいと明るい職場です。 業務内容は多種多様で、各種申請窓口の仕事だけでなく、企画、広報、水道の管理など、異動をすると転職かな？と思うくらい内容が異なりますが、上司や先輩たちが積極的に新人職員にコミュニケーションを図り、気軽に相談しやすい温かい職場です。	なんといっても「中種子町の人は温かい！」と思ったのが、地元に戻ってきて率直に思った感想でした。困ったことがあれば、気軽に相談できる環境に何度も救われ、家庭を持った今でも、たくさんの方々に支えられながら子育てと仕事を両立しながら今日まで保健師を続けられています。町のイベントでは、職員一同となって町を盛り上げることも魅力的です。
仕事のやりがい (印象に残っていること)	イベントの運営を担当した際、自分で一から計画を考える中で、事前に多くのことを調べて準備するのが大変ですが、参加者が楽しそうに活動している姿を見たり、「ありがとう」などの声を掛けていただいた際に、自分と地域とのつながりや、自分の仕事が町民の役に立っているという実感を得ることができ、日々の業務のモチベーションにつながっています。	人がとても温かく、小さな町だからそのつながりが強いので、住民の方々から学ばせて頂くことがたくさんあります。課をまたぎながら保健師みんなで協力し合い、乳幼児健診や特定健診など、子どもから高齢者まで関わることが出来ます。離島ならではの課題もありますが、住民自身が住み慣れた地域で自分らしく生活していけるよう、一緒に考え支援させて頂ける環境をありがたく思っています。人と人の関わりなので大変なこともありますが、感謝の言葉をもらったり、地域で声をかけてもらえる関係性にとてもやりがいを感じます。
先輩職員からメッセージ	日々、様々な業務に取り組む中で成長し学ぶことがたくさんあります。新たな環境に挑戦することは不安や大変なことも多いと思いますが、優しく温かくご指導して下さる上司や先輩たちの皆さんがたくさんいます。 ぜひ、一緒に中種子町役場で働きましょう！	どこの職場も慣れるまでは大変だと思いますが、職場の先輩方がとても優しく、相談時には親身になって話を聞いてくださるので、プライベートも充実させながら楽しく働くことができる職場です。 きれいな海と自然豊かな環境と一緒にお仕事してみませんか？

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<ul style="list-style-type: none"> ○新規採用職員へのサポート 入庁後すぐに、総務課職員から、行財政等 (文書構成・伝票・契約等) 様々な研修を行い、新規採用職員をしっかりとサポートします。 ○柔軟な働き方 フレックスタイムや時差出勤制度を導入しており、多様なライフスタイルに対応できるよう努めています。 ○仕事と生活の両立 年次有給休暇 (年20日)、結婚休暇 (5日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇、夏季休暇 (5日)、夏季特別休暇 (3日) 等の取得が可能です。 ○各種手当 期末手当や勤労手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。
---------	--

I 自治体の概要

(1) 面積・人口等

面積 (km ²)	540.44
人口	11,017
男	5,403
女	5,614
世帯数	5,725

※面積は全国都道府県市区町村別面積調 (R7.4.1) による。

※人口・世帯数は住民基本台帳 (R7.1.1) による。

(2) 職員数等

職員数 (人)	184
一般行政	131
教育	19
消防	0
公営企業等	34
平均年齢	41.3

※令和6年度給与実態調査等 (R6.4.1現在) による。



II 自治体の紹介

特徴・魅力	<p>当町は、県本土最南端の佐多岬から南西方向約60kmに位置する人口約1.1万人、面積約540平方キロメートルの屋久島と口永良部島からなる豊かな自然に囲まれたまちです。</p> <p>屋久島は、平成5年にユネスコによって日本で初めて世界自然遺産に登録され、平成17年にはラムサール条約、平成28年には屋久島・口永良部島ユネスコエコパークとして登録されている日本で唯一のユネスコ3冠の島です。</p> <p>南の島ですが、山頂では北海道並みの気候となり、屋久島だけで日本列島すべての自然を網羅することができるなど、世界中の人から一度は訪れたいといわれる場所です。</p>	<p>主なイベント (年間行事)</p> <p>2月…ふるさと産業まつり (屋久島の農林水産業の振興を図ることを目的にしたもので、姉妹盟約都市の特産品等も出品されるイベントです。)</p> <p>2月…サイクリング屋久島 (エコな乗り物「自転車」に乗って、屋久島の大自然を体験してもらうイベントです。)</p> <p>8月…屋久島ご神山まつり (山岳信仰を踏まえた伝統・文化の継承を目的とした夏祭りです。)</p> <p>11月…屋久島夢まつり (屋久島の人々、子どもたちの夢と願いを込めて、1万4千の灯籠に灯りを灯すイベントです。)</p>
目指すまちの姿 (ビジョン)	<p>「悠々の流れの中で、自然と共に生きる知恵と多様な集落の文化がとけあい、人々の営みが循環・維持していくまち」</p> <p>あらゆる人が輝き、住民自らの手でつくる屋久島スタイルのまちづくりを進めていきます。</p>	<p>求める職員像</p> <p>①職員自らの責任において社会の変化に柔軟かつ弾力的に対応できる人</p> <p>②多様化する住民のニーズを的確に捉え、限られた財源を有効に活用できる人</p>

III 先輩職員の声

	先輩職員① (行政職)	先輩職員② (技術職)
採用年度 / 職種	平成29年度 / 一般職	令和元年 / 土木
志望した理由	<p>世界自然遺産「屋久島」に興味があり、大学時代、観光で初めて屋久島を訪れました。屋久島の大自然と、そのとき関わった人々のあたたかさで魅了されたこともあり、就職活動を行う中で選択肢の一つとして屋久島が入りました。資格もなく、特に夢もなかった私でしたが、「身近な人の役に立ちたい」「屋久島に住んでみたい」「屋久島町役場で働いてみたい」という思いが強く、志望しました。興味本位で志望し、縁あって就職できましたが、今後も屋久島町役場で働く予定です。</p>	<p>大好きな故郷へ帰りたい! という思いが強く、その中で自分のこれまで学んできた土木工学や前職 (地方公務員) での経験等を存分に活かせる職を探したところ、屋久島町役場がぴったりだと感じたので志望しました。</p> <p>地元のみならず、携わり20年後、30年後に多くの世代が住みやすいまちを作りたいと考えています。</p>
入ってみたらこんな職場	<p>心配していた人間関係については、もちろん職務中は役職や年齢など考慮していますが、悩んだときには気軽に相談でき、また助言も与えていただき、頼りになる上司・同僚ばかりです。町のイベントの役員や草刈りなど作業もあります。地区行事も楽しく参加できています。屋久島ならではの地域性のおかげでいろんな経験ができ、人間関係も築くことができ、公私とも支えられています。また、令和元年に完成した、地杉がふんだんに使われた香り豊かな木造庁舎で、山や海を眺めながら気持ちよく仕事ができ、そんな環境で仕事ができることは幸せだなと感じています。</p>	<p>土木係では道路や河川・港湾といった社会基盤施設の維持管理をはじめ、農業施設、都市計画など多岐にわたる業務を取り扱っていることから、覚えなければならぬことがたくさんありますが、先輩方がしっかり支えてくれるおかげで何とかなっています (何とかして頂いております)。</p> <p>人数が少ないため「協力し合って皆で進めていこう」をモットーに他愛のない会話も織り交ぜながら日々の業務に動んでいます。</p>
仕事のやりがい (印象に残っていること)	<p>観光まちづくり課に配属され、新型コロナウイルス感染症に伴い観光事業者を対象とした給付金事務を通して観光立町としての「屋久島」を考えさせられ、終息に向かい観光PR活動を行う中で、屋久島の偉大さを観光客から改めて教えていただきました。その方々の思いや屋久島の不便さも含む様々な意見を基に観光パンフレットやポスター、PR動画などを制作し、屋久島の魅力として発信しています。役場の業務は、対住民の仕事もやりがいを感じますが、職種によっては島外の方々とのお付き合いがたくさんあり、屋久島をより多くの方に知っていただき、何か手助けができたり、感謝のお言葉をいただけることもやりがいの一つです。</p>	<p>私が最初に受け持ったのは砂利道に舗装を行う工事でした。複雑な工事ではありませんでしたが、受注業者や近隣の方とのやりとり・県への申請など不慣れた作業に右往左往したことをよく覚えていますが、工事が無事完了しそれまでとは見違える道路が出来上がったときは大きな達成感がありました。今でもその道路を利用している人を見るとき少し嬉しくなり、この仕事に携われてよかったと感じます。</p>
先輩職員からメッセージ	<p>私の仕事が住民のため、大好きな屋久島のためになること。思いが仕事を通じて反映され、直接「ありがとう」「助かりました」と言ってくれれば、「頑張ってたか」と達成感を味わうことができ、「もっとこうしたい」という活力になります。自然が好きなのは休みの日に登山をしたり、水のアクティビティを満喫でき、自分の時間を大事にしたい方や人との繋がりを大事にしたい方にもピッタリな場所です。屋久島で働いてみませんか!</p>	<p>私たちの仕事は地図として記録に残り、ずっと先の未来まで残るまちや施設をつくります。屋久島町というまちを思い描くまちづくりや道路や河川、港湾整備 (維持管理) といったハード面での町造りに興味のある方はぜひ一緒に仕事をしましょう。皆さんと一緒に働くことを楽しみにしています。</p>

IV 職場の環境等

主な制度・取組	<p>○安全で快適な職場環境</p> <p>令和元年に完成した地杉の製材を活用した美しい架構と香り漂う屋久島らしい空間で、心地よく働くことが可能です。また、安全で快適な職場環境を維持するため、産業医、衛生管理者による職場巡視を実施している他、健康診断の実施とその結果に基づく措置を行い、職員の健康維持・増進に努めています。</p> <p>○仕事と生活の両立</p> <p>年次有給休暇 (年20日)、結婚休暇 (5日)、産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇等の取得が可能です。</p> <p>○各種手当</p> <p>期末手当や勤勉手当のほか、勤務状況等に応じて通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当等を支給します。</p>
---------	---